

(様式第2号)

技術職員実務経験申立書

年 月 日

行政庁
記載欄

(フリガナ) 氏 名

(生年月日)

(許可番号)

業種コード	(建設工事の種類)	工 事
-------	-----------	-----

(商号又は名称)

業種コード	(建設工事の種類)	工 事
-------	-----------	-----

(代表者名)

上記技術職員の実務経験について、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

業種コード	実 務 経 験 年 数	使用者の商号又は名称	実 務 経 験 の 内 容
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	
	年 月 ~ 年 月	年 月 日	

(記載要領)

- 1 この申立書は、技術職員名簿（規則別記様式第25号の11・別紙2）に記載した者のうち、有資格区分コード「002」に該当する者又は実務経験要件の緩和による有資格区分コード「099」に該当する者がいる場合、当該者ごとに提出する。なお、当該者が専任技術者又は専任技術者であった者の場合は、建設業許可申請書又は変更届の副本にある実務経験証明書（規則様式第9号）の写しにより、この申立書に替えることができる（ただし、申請する業種が、実務経験証明書により証明した業種に限る。）。
- 2 「業種コード」欄は、申請する業種を記載する。
- 3 「実務経験年数」、「使用者の商号又は名称」及び「実務経験の内容」欄は、業種コードごとに記載し、当該業種の最終行に経験年数を合計する（有資格区分コード「002」の場合は10年以上、「099」の場合は必要年数以上となること、また、二業種の実務経験を記載する場合に経験期間を重複して計算しないことに注意する。）。
- 4 「実務経験年数」欄は、使用者ごとに1行ずつ記載する。
- 5 「実務経験の内容」欄は、「実務経験年数」欄に記載した期間内に携わった主な実務経験の内容が分かるよう具体的な工事の名称を記載する。
- 6 前回申請以前の申立書に記載した実務経験年数と重なる期間については、業種を変更することはできない。